

優先度 (原案)	優先度 (最終決定)	施策名	所管	概算 要求額	最重要 政策課題	重点推進 課題	施策の概要 (施策の必要性)	ヒアリング時における有識者コメント(有識 者議員名)	ヒアリング時における外部専門家コメント(匿名)	優先度の理由(原案) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、制 度面での課題も指摘)	優先度の理由(最終決定) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、 制度面での課題も指摘) (パブリックコメントの主な例)
【産学官連携】											
A	A	産学イノベーション加速事業 (産学共創基礎基盤研究、戦 略的イノベーション創出推進) 【競争的資金】	文部科学 省・JST	1,373		一部 革	<p>産学による基礎研究基盤強化や技術開発基 盤強化のための研究開発、革新的な基礎研 究成果を基にした産学による大規模な研究開 発等、特にイノベーションを加速する効果の高 い産学による取り組みを支援し、我が国の科 学技術力と産業競争力を強化する。 イノベーションを加速するために、産学分野の 重要課題ごとに、産学官が協働してそれぞ れの役割・得意分野を活かして研究・開発を行 い、「知」を創造する場(プラットフォーム)を構 築することが必要。また、基礎レベルの技術 シーズを迅速かつ円滑に新技術確立に向け 発展させる必要。</p> <p>(産学共創基礎基盤研究) ○1技術課題あたりの金額:400万円程度 (初年度は半年分)うち間接経費:92百万円程 度(初年度は半年分) ○採択予定技術課題数:2程度(1技術課題あ たり10機関程度の大学等が参加) (戦略的イノベーション創出推進) ○1チームあたりの金額:350百万円程度(初 年度は半年分)うち間接経費:80百万円程 度(初年度は半年分) ○採択予定テーマ数:1程度(1研究開発 テーマ当たり5程度のチームを採択)</p>	<p>○本事業の趣旨はよくわかるし、重要でも ある。しかし、本事業において大学がどのよ うな役割をはたすのか、よくわからない。大 学を入れず、大学の研究者に自由に応募 してもらった方がよいのではないか。(白石 隆議員) ○産学連携のどちらが提案か、資金負担 の度合いによって異なるが、産学が提案し たら資金もある程度拠出してもらうべき(青 木玲子議員) ○経産省との関係整理(本庶佑議員) ○外から見ると違いが明確でないので、3 施策を一本化するか1施策に絞るべき(今 榮東洋子議員)</p>	<p><産学共創基礎基盤研究事業に対して> ○PO、PMを有効に利用できるようなして、成 果が出るような仕組みを作って欲しい。 ○チャレンジングな施策であり、実施に對して は、更に工夫が必要である。 ○面白いチャレンジとは思いますが、POなりPMな りの識見・能力によって大いに異なる結果とな る。人材の選定は最重要となる。</p>	<p>○産業界が抱える技術課題の解決に資する基礎研究 について、産学が対話を行いつつ協同体制の下で実 施していくことは、産学連携の新しいかたちをつくる上 でも、科学技術を基盤としたイノベーション創出を促進 する上でも重要である。 ○産業界から提案される、出口を踏まえたニーズの高 い基礎研究が推進されることから、本制度は非常に有 効であり、着実に実施すべきである。 ○成果を得るために、見識・能力のある者によりプロ ジェクトをマネジメントすることが重要であるとともに、 責任体制・連携体制、特に大学の役割について明確に すべきである。 ○人材の交流など広範な連携に展開していくような配 慮も必要である。 (白石隆議員)</p>	<p>原案と同じ (白石隆議員)</p>

優先度 (原案)	優先度 (最終決定)	施策名	所管	概算 要求額	最重要 政策課題	重点推進 課題	施策の概要 (施策の必要性)	ヒアリング時における有識者コメント(有識 者議員名)	ヒアリング時における外部専門家コメント(匿 名)	優先度の理由(原案) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、制 度面での課題も指摘)	優先度の理由(最終決定) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、 制度面での課題も指摘) (パブリックコメントの主な例)
【地域活性化】											
B	B	地域における産学官連携支 援事業	農林水産省	300		地	<p>地域において共同研究の参画機関数を増加させるため、地域にコーディネーターを配置。農山漁村に存在する豊富な資源を活用した新産業の創出を図るためには、異分野との連携を強化し、技術革新につながる分野横断的な研究開発を促進することが必要。</p> <p>22コーディネーターの配置に要する経費 278 【主な内訳】 ・人件費:69 ・調査費:156 ・旅費:9 ・その他:44 コーディネーターの研修に要する経費 22</p>	<p>○やらないよりはもちろん良いが、規模が小さすぎるのではないかと。(白石隆議員) ○ビジネスとして長期的に維持するために、知的財産戦略を充実する必要がある。知財化即排他ではなく、無償実施が可能であるが、特に海外への技術譲渡をかがえること知財化への考慮が必要。(青木玲子議員)</p>	<p>○非常に重要で優先度の高い事業と考えられる。是非、進めていただきたい。 ○必要な事業ではあるが、組織のマネジメント等、工夫が必要である。 ○大いに期待される事業である。コーディネータを専門家として期待どおりに活動していただくためには、人材育成は重要なポイントである。OJTも含めてある程度時間を長く取った研修カリキュラムが必要。</p>	<p>○地域のイノベーションを引き起こし農林水産業の地域活性化を実現するために、地域における農林水産業の技術的諸課題の解決、研究開発成果の普及・事業化の促進を図ることは重要である。 ○複数の専門家によるコーディネータユニットを配置するなど、生産現場から研究開発までを一連で見据えた施策であり、ビジネスとして効果的・効率的に実施される必要がある。 ○組織のマネジメントや人材育成のための研修、知的財産戦略を充実する必要がある。 (白石隆議員)</p>	<p>原案と同じ (白石隆議員)</p>
B	B	地域活性化のための技術開 発支援事業 【競争的資金】	農林水産省	1,955		地	<p>地域の関係者による技術開発から改良・開発実証試験までの取組を切れ目なく支援することにより、民間企業による事業化や生産現場における普及に迅速に供することが可能な技術の開発を推進。 科学技術による地域の活性化を図るためには、実用化段階の研究開発の成果を民間企業による事業化や生産現場での普及に迅速に結びつけることが必要。</p> <p>①地域発イノベーション創出型 1課題当たりの金額:30 ・うち間接経費:7 採択予定課題数:50 ②地域研究機関連携強化型 1課題当たりの金額:50 ・うち間接経費:13 採択予定課題数:7 ③その他事務経費:105</p>	<p>○普及させるべき技術の対象範囲をできる限りオープンにして、農水省自前に限定しないようにする必要がある。(白石隆議員)</p>	<p>○連携協定は画期的である。協定の先の実施、実証、評価についても、スタート時点からシステムづくりをして欲しい。是非、進めて欲しい。 ○他分野(工学、商学)との融合を目指すプロジェクトを優先する必要があるのではないかと。 ○良いと思う。これまで見られなかった挑戦的 事業と思う。力強く推進していただきたい。</p>	<p>○農林水産に関する生産現場の課題解決のため、実用化段階の研究開発の成果を民間企業による事業家や生産現場での普及に結びつけて行く必要がある。 ○これまでは連携研究が進んでいない異分野を含む産学官の連携によるネットワークの強化や相互理解の進展、共通ビジョンの形成などにより、優れた技術開発や、その成果の確実な事業化・普及が見込める施策であり、効果的・効率的に実施される必要がある。 ○実行の際には、工学や商学などの他分野との連携を積極的に考慮していく必要がある。 ○連携後の実証や効果検証の方法について、早期から検討を開始しておく必要がある。 (白石隆議員)</p>	<p>原案と同じ (白石隆議員)</p>
B	B	産学官民連携による地域イノ ベーションクラスター創成事 業	文部科学省	1,500		地	<p>環境調和型の社会や健康長寿社会の実現等、国として重点的に取り組むべき分野において、地域の主体性のもと将来的に有望で、市場ニーズがある課題について、産学官連携による技術シーズの育成、出口を見据えた研究開発、市民参加による実証試験等を実施し、地域への社会還元を実現する。 地域の知の拠点である大学を中核として、地域の特色を活かした産学官共同研究を推進するとともに、研究成果の中堅・中小企業や社会への展開等を図ることにより、科学技術を活用した地域活性化を実現する。従来型の公共事業依存型ではなく、上記のような地域の多様性・独創性を活用した科学技術駆動型の地域活性化を図ることにより我が国全体の科学技術の高度化・多様化を図る必要がある。</p> <p>・1地域あたりの金額:200~400百万円 ・採択予定地域数:5地域</p>	<p>○事業参加の条件をよく考える必要がある。地域振興のために自治体ももっともやりやすい形を考えるべき。(白石隆議員) ○プロジェクト設計(関係者の責任と権利、成功の便益はどこに)を経験を生かして吟味。域外の人材、技術も利用。他の事業との関係(補完性)をはっきりさせる。選別が大切。(青木玲子議員) ○これまでの関連事業を総括した上で、本プロジェクトの特性を明確化すべき(相澤益男議員) ○地域振興が重要な政治課題であることはかわらない。科学技術による地域振興を図るには、従来プログラムにない新たな視点を取り入れた制度設計が必要である。(奥村直樹議員) ○地域カラーを出したクラスター創成に展開すべきである。(今榮東洋子議員)</p>	<p>○科学技術の進展を通じて、各地域の特色を活かした地域振興を実現していくことは重要であり、地域の関係者が一体となって取り組む施策であり、効果的・効率的に実施される必要がある。 ○主たる牽引役となる自治体や人材にとって、使いやすい制度としていく必要がある。 ○域外の人材や技術も活用するなど、従来プログラムで対応していない新たな点についても配慮していく必要がある。 (白石隆議員)</p>	<p>原案と同じ (白石隆議員)</p>	

優先度 (原案)	優先度 (最終決定)	施策名	所管	概算 要求額	最重要 政策課題	重点推進 課題	施策の概要 (施策の必要性)	ヒアリング時における有識者コメント(有識 者議員名)	ヒアリング時における外部専門家コメント(匿名)	優先度の理由(原案) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、制 度面での課題も指摘)	優先度の理由(最終決定) (分野としての技術課題等、競争的資金の場合は、 制度面での課題も指摘) (パブリックコメントの主な例)
A	A	中小企業等の研究開発力向上および実用化推進のための支援事業	経済産業省	900		地	<p>先端的・独創的な技術を有する中小企業等が、大学・公的研究機関の技術・設備等の資源を活用して行う、実用化に向けた共同研究を支援する。</p> <p>先端的・独創的な技術を持ちながらも、実用化に至ることができない中小企業等を支援するため、高度な知見・技術・設備等を有する大学・公的研究機関等との共同研究を促し、その研究開発力の強化と実用化を推進する取組みについて、国が支援を実施することが必要。</p> <p>1プロジェクトあたりの金額: 13.2(19.9×補助率(2/3)) 採択予定数:68</p>	<p>○事業の趣旨はきわめて明解。コミットメント、効率性も担保されている。(白石隆議員)</p> <p>○中小企業を直接支援することと区別すること。地味な中小企業支援の重要性をもっと強調するべき。(青木玲子議員)</p> <p>○中小企業等の有効な支援となることが期待される(相澤益男議員)</p> <p>○地域間の競争環境をより強くした修正プログラムになっており、政策目標を達成できるよう運営に留意すべきである。(奥村直樹議員)</p> <p>○支援機関を広く公的研究機関、大学、地域財団に拡げたことによって多様性が生じる。(今榮東洋子議員)</p>	—	<p>○中小企業やベンチャー企業における潜在力を活かし、地域ごとに特色ある産業育成が推進されることから、本施策は非常に有効であり、着実に実施すべきである。</p> <p>○地域の実情をよく知る公設試験場等の知見・ノウハウを活用することにより、多様性や地域間の競争を促しながら、効率的に実施していくことが必要である。(白石隆議員)</p>	<p>原案と同じ (白石隆議員)</p>